科目名	人間と文学　　Introduction to Literature						
科目担当者	堀下 翔　　HORISHITA Kakeru						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　人間形成］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　人間形成］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	文学作品は時代を映す鏡です。この科目の前半では、現代日本の文学作品（小説・詩歌）を取り上げ、みなさん一人一人が生きるこの時代が、文学の表現にどのように汲み取られ、構成されているのかを検討し、文学というものが持つ機能を考えます。加えて後半では、一般教養として知っておくべき日本近代文学史を辿りながら、文学の読者が持つことのできるさまざまな視点を紹介します。 文学は「何が」書かれているかという〈内容〉と、「どのように」書かれているかという〈表現〉の両面からとらえる必要があります。ことばを用いて表現するとはどのような行為であるか、ということを念頭において講義をします。						
授業の到達目標	①　文学作品の読解を通して、多様な日本語表現を読解する力を身につけること。 ②　文学作品の読解を通して、広い視野をもって社会を見渡せるようになること。 ③　言語表現が持つ諸機能について、深い洞察をもって説明できるようになること。						

授業計画・内容		
	1	ガイダンス―文学は「学問」か？
	2	現代の文学①市川沙央『ハンチバック』―読書とバリアフリー
	3	現代の文学②澤村伊智「シュマシラ」―ホラー小説とオリエンタリズム
	4	現代の文学③朝井リョウ『正欲』―大衆小説と性的マイノリティ
	5	現代の文学④米澤穂信『氷菓』―ミステリ小説と日常
	6	現代の文学⑤冬野夜空『すべての恋が終わるとしても』―恋愛小説と「タイパ」
	7	現代の文学⑥劉慈欣「円」―SF 小説と翻訳
	8	現代の文学⑦岡野大嗣『たやすみなさい』―現代短歌と詩性
	9	現代の文学⑧アニメ「薬屋のひとりごと」―作品を「花言葉」で考察する欲望
	10	文学の読み方①坪内逍遥『小説神髄』―古典文学と近現代文学の違い〈小説編〉
	11	文学の読み方②与謝野鉄幹『東西南北』―古典文学と近現代文学の違い〈詩歌編〉
	12	文学の読み方③田山花袋「少女病」―自然主義文学
	13	文学の読み方④芥川龍之介「奉教人の死」―大正期における短編小説の確立
	14	文学の読み方⑤安西冬衛『軍艦茉莉』―モダニズム文学
	15	文学の読み方⑥源氏鶏太「幽霊になった男」―純文学と大衆文学

授業外学修 (事前学修)	・授業で扱う対象作品を事前に読んでおく（毎週 3 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	・中間レポートの作成（5 時間程度） ・期末レポートの作成（10 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・中間レポート ・期末レポート	40% 60%	①・③ ①・②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	特に指定しない。扱う作品を受講生が入手する必要はない。
参考文献	・安藤宏『日本近代小説史』（中公選書、2020）
その他	「日本語理解Ｃ」との並行受講を推奨する。